

**OLYMPUS**

# 2026年3月期 第3四半期 連結決算概況

2026年2月13日

オリンパス株式会社 | 取締役 代表執行役 社長兼 CEO ボブ・ホワイト | 執行役 CFO 泉 竜也



# 免責事項

- 本資料のうち、業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれていますが、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

# 目次

- CEO 1. エグゼクティブサマリー
- CEO 2. ビジネストピックス
- CFO 3. 2026年3月期第3四半期連結業績および事業概況
- CFO 4. 2026年3月期 通期業績見通し
- 5. Appendix

# パーパスを原動力に成長を実現する企業として、 内視鏡医療の未来を切り拓く

私たちの存在意義

世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現

## イノベーションによる成長

次世代イノベーションをリードし、  
成長市場での事業拡大を図る

当社の戦略基盤

## シンプル化

オリンパスをシンプル化し、  
迅速な意思決定と効率的な運営を実現

## 責任ある行動

品質・オーナーシップ・実行力を重視する  
ハイパフォーマンス文化の醸成を促進

FY27-FY29 財務ガイダンス

売上高<sup>1</sup>

**3-4-5 %**

FY29までに前年比5%の売上成長

営業利益率<sup>2</sup>

**100** プラスbps

FY26を起点に毎年の利益率改善

EPS成長率<sup>2</sup>

**10 %超**

FY26を起点としたCAGR

<sup>1</sup> 為替前提を固定 <sup>2</sup> 特殊要因調整後：その他の収益および費用を除く、為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用

# エグゼクティブサマリー

# エグゼクティブサマリー 2026年3月期第3四半期連結業績

売上高

**2,610** 億円

**+1 %** / **+4 %**

GIS **+2 %** / **+5 %**

SIS **▲3 %** / **+1 %**

調整後営業利益

**393** 億円

調整後営業利益率

**15.1 %**

**▲13 %** / **▲9 %**

**▲2.1 pp**

■ 前期比 為替影響調整後  
■ 前期比 円ベース為替込み

- 1 第3四半期は、為替の追い風もあり、4%成長。欧州、新興国<sup>1</sup>、中国では消化器内視鏡が力強く成長。米国の消化器内視鏡は伸び悩むも、強固なパイプラインを背景に、第4四半期回復を見込む
- 2 SISを中心に約90億円の出荷止めが発生し、第3四半期の売上成長と売上総利益に影響
- 3 増収の中でも、販管費は厳格に管理。FY27～FY29に年間約240億円のコスト削減効果を見込む構造改革を含め、長期的な販管費改善も計画通りに進捗
- 4 出荷止めと売上原価の変動性を踏まえ、調整後営業利益率の見通しを12.7%～13.9%に修正。11月に開示した中期計画へのコミットメントは維持
- 5 執行役体制の刷新により、リーダーシップの経験値と厚みを増し、執行力を強化



私たちの優先事項は明確です。患者さんの安全と品質への揺るぎないコミットメントのもとで、引き続き製品供給を安定的に確保しながら、主要製品の上市を着実に進めること、イノベーションと戦略的パートナーシップをさらに加速させること、そして組織の効率化を推進することです。

中期計画の「3-4-5」及び100プラスbpsの利益率改善、EPSの2桁成長達成に向けて、引き続き取り組んでまいります。”

**ボブ・ホワイト**  
取締役 代表執行役 社長兼  
CEO（最高経営責任者）

<sup>1</sup> 地域別の開示区分である、アジア・オセアニア（韓国・オーストラリア・シンガポール・香港は除く）とその他（中南米、中東・アフリカを含む）の合算

# ビジネストピックス

# 品質システムとオペレーションのレジリエンス強化に向けた さらなる取り組み

2025年後半に米国、欧州、日本の8拠点で行われたFDA査察は、  
当社オペレーション及び品質改善の取り組みを検証する機会となった

## 実行計画

- 1 患者さんの安全を最優先とした、リスクベースのポートフォリオ評価  
ー 特定の製品を是正、交換、廃止
- 2 品質システムのグローバルな標準化のさらなる推進
- 3 品質・法規制チームの重点的な強化

約 **90** 億円

出荷止めと是正措置による影響

- 出荷止めは主に4つの領域に影響：消化器科処置具、泌尿器科、呼吸器科、外科
- 約半数は、予防的措置として実施されたもの
- 70%は、安全性評価を経て出荷再開へのプロセスを進行
- 残りの出荷止め製品についても、是正に向けて進捗



# 2026年3月期 通期見通し 売上総利益率改善に向けた課題と今後の展望

売上高

## 据え置き

前回見通し比  
円ベース為替込み

- 第3四半期までは、円ベースの売上高が想定通りに進捗
- 円ベースの見通しは据え置き。為替影響調整後では▲2%

調整後営業利益率

## 10%台前半～10%台半ば

12.7%～13.9%の範囲

- **売上原価：**  
サージカルインターベンション事業を中心とした出荷止めに加え、是正措置関連費用（自主回収等含む）、その他の一時費用により、悪化を見込む。  
第4四半期中に大半を解決する見通し
- **販管費：**  
第4四半期も厳格なコスト管理を継続。構造改革を含む長期的な販管費改善も計画通りに進捗

# 業績を支える地域・製品別の強力なドライバー

## 欧州

医療分野合計

**+6%**

3Q前期比  
為替影響調整後

製品ドライバー

- 超音波内視鏡製品

## 新興国

医療分野合計

**+11%**

3Q前期比  
為替影響調整後

地域ドライバー

- 中南米
- アジア新興国

## 北米

消化器科処置具

**+13%**

3Q前期比  
為替影響調整後

製品ドライバー

- 内視鏡的逆行性胆道膵管造影術（ERCP）用の製品
- 止血に係る製品

## 中国

医療分野合計

**▲18%**

1Q前期比

**▲18%**

2Q前期比

**+5%**

3Q前期比

為替影響調整後

成長ドライバー

- Go-to-market戦略／販促活動・事業運営の実行力
- 内視鏡用超音波観測装置「EU-ME3」
- EDOFスコープ（上部消化管用）

## 中国での現地生産



EDOFスコープ  
（上部消化管用）

11月に発売開始



VISERA ELITE III

12月に発売開始



EVIS X1 ビデオ  
システムセンター

1月に発売開始



EDOFスコープ  
（下部消化管用）

MPAに認可申請  
（2025年8月）

# GISの短期・戦略的成長を推進

GORE VIABILステントは1月の販売開始後、好調な滑り出し



内視鏡下留置用胆管向けステント

85%

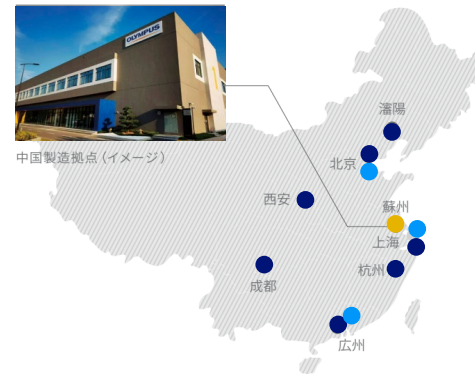
1月に、106名の営業担当者のうち85%がVIABILを販売

400億円超

市場規模<sup>1</sup>

中国での新たな Go-to-market 戦略が、3Q 以降の成長に寄与

● サービスセンター ● トレーニングセンター ● 製造拠点



- 営業担当者を特定の治療領域に専任化
- 販促活動・事業運営の規律ある実行とパイプライン管理
- 政府および医療経済関係者との関係強化

AI とロボティクスで、内視鏡を用いた医療の未来を切り拓く

OLYSENSE

230%

最近公表されたEAGLE<sup>2</sup>試験により、鋸歯状病変（SSL）の検出率の増加、OLYSENSE CADDIE AIの臨床的有用性を確認

6カ国

欧州でのローンチ以降、OLYSENSE CAD/AI の初回受注があった国数



SWAN ENDOSURGICAL ROBOTICS

豊富な経験を持つ、ロボティクス／メドテックリーダーであるエリック・トッドをCEOに任命

<sup>1</sup> サービス提供可能な市場規模（2026年3月期）。本ページに掲載されている対象市場規模と成長率予測は当社調べによるもので、米国、欧州主要5カ国（ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン）、日本、中国に関するものです。市場規模は2025年時点のものです。<sup>2</sup> Kader R, Hassan C, Lanás Á, et al. A novel cloud-based artificial intelligence for real-time detection of colorectal neoplasia – a randomized controlled trial (EAGLE). npj Digit. I Med.. Published online December 26, 2025. <https://doi.org/10.1038/s41746-025-02270-1>.

（注）医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

# 今後のSISの成長ドライバー

## シングルユース内視鏡による成長



シングルユース尿管鏡および膀胱鏡の初期臨床使用フェーズを完了し、商業販売を本格開始

**600億円超**

市場規模<sup>1</sup>

- 腎結石などの尿路疾患や障害の診断および治療における視覚化とアクセスをサポート
- シングルユース膀胱鏡、尿管鏡、吸引機能付きアクセスシースを含む包括的な製品群へとポートフォリオを拡大



シングルユース気管支鏡のパートナーシップを欧州へ拡大

**約500億円**

市場規模<sup>1</sup>

- 約5万人の患者さんに影響を与え、高い二桁成長を実現
- リユース、シングルユース、サービスを組み合わせたハイブリッドソリューションにより、お客様の進化するニーズに応える総合的なソリューションを提供

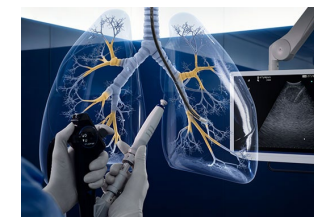


## EBUSソリューションによる成長



細径EBUSスコープ (BF-UCP190F) を欧州、日本、アジア・オセアニア地域で発売

- 独自設計により肺の深部までアクセスが可能となり<sup>2</sup>、先進的なEBUS技術を通じてリアルタイムでの診断およびステージ分類に貢献
- 初期の臨床フィードバックは非常に良好で、商業化初期段階の進捗は順調
- 第4四半期より臨床エビデンスの創出を開始



<sup>1</sup> サービス提供可能な市場規模（2026年3月期）。本ページに掲載されている対象市場規模と成長率予測は当社調べによるもので、米国、欧州主要5カ国（ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン）、日本、中国に関するものです。市場規模は2025年時点のものです。泌尿器科市場規模予測には吸引機能付きアクセスシース、および中国市場は含まれません。<sup>2</sup> Takashima Y, Shinagawa N, Shoji T, et al. Evaluating the Efficacy of Thin Convex-probe Endobronchial Ultrasound Bronchoscope in Cadaveric Models. J Bronchology Interv Pulmonol. 2025;32(3):e01015. Published 2025 May 21. doi:10.1097/LBR.0000000000001015

（注）医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

# 3-4-5%売上成長計画 売上高成長率を毎年約1%ポイント改善

## イノベーションによる成長

重点的な投資によるポートフォリオの強化

### 主なドライバー<sup>1</sup>

#### 消化器内視鏡

EVIS X1 スコープ (EZ/EDOF) 米国、中国

#### 消化器科処置具

ステント 欧州

#### 泌尿器科

シングルユース尿管鏡/膀胱鏡

米国、欧州、アジア・オセアニア

ストーンマネジメント 米国

#### 呼吸器科

細径EBUSスコープ

欧州、日本、アジア・オセアニア

シングルユース気管支鏡 欧州

#### 消化器内視鏡

EVIS X1 スコープ (追加ラインナップ)

米国、欧州、日本

シングルユース十二指腸内視鏡 日本、米国

#### 消化器科処置具

ステント アジア・オセアニア

#### 泌尿器科

ストーンマネジメント 欧州

#### 呼吸器科

細径EBUSスコープ 米国

#### 消化器内視鏡

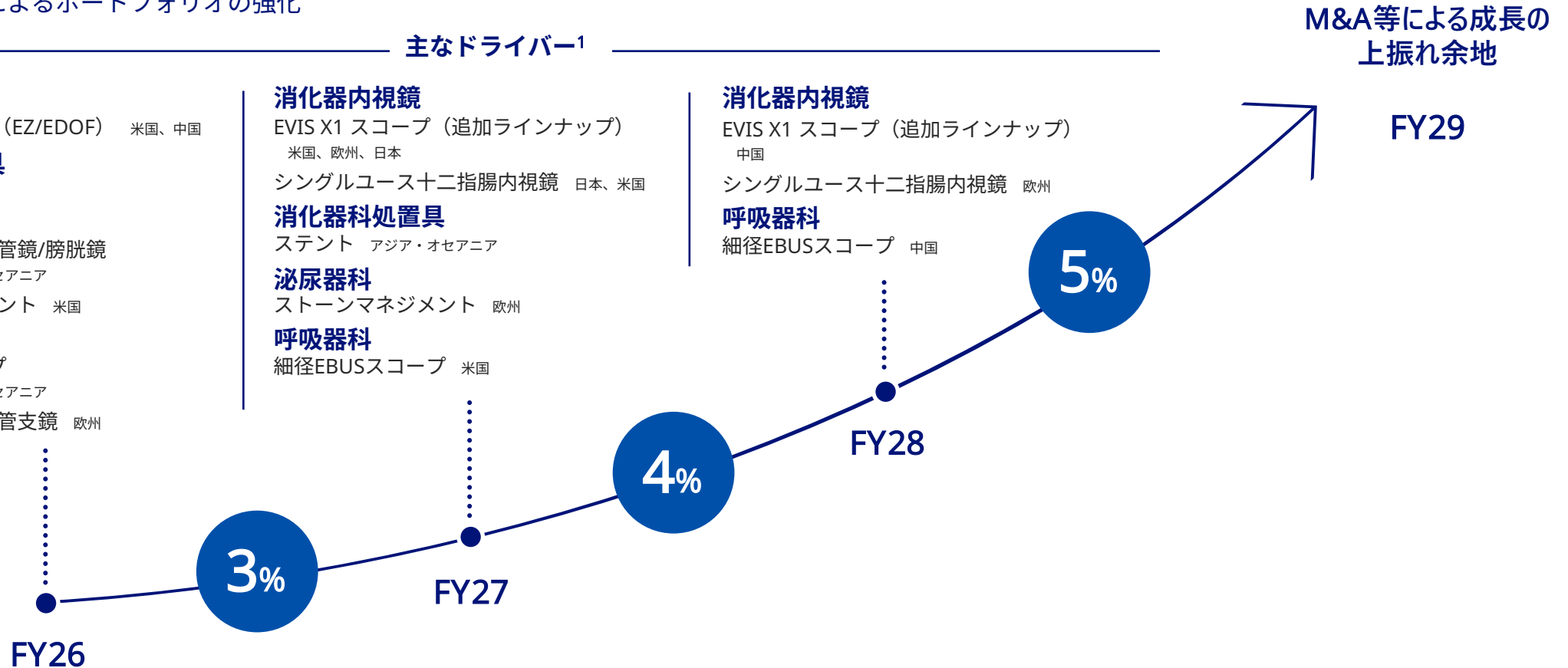
EVIS X1 スコープ (追加ラインナップ)

中国

シングルユース十二指腸内視鏡 欧州

#### 呼吸器科

細径EBUSスコープ 中国



<sup>1</sup> 2025年11月7日時点の想定。製品の発売時期については前後する可能性があります。

# 毎年100プラスbpsの利益率改善

## 多面的施策で構造的な利益率拡大へ —明確なロードマップ

### 初期フェーズ：

#### 利益率回復のための基盤強化

約2,000ポジションの削減により、利益率拡大を牽引

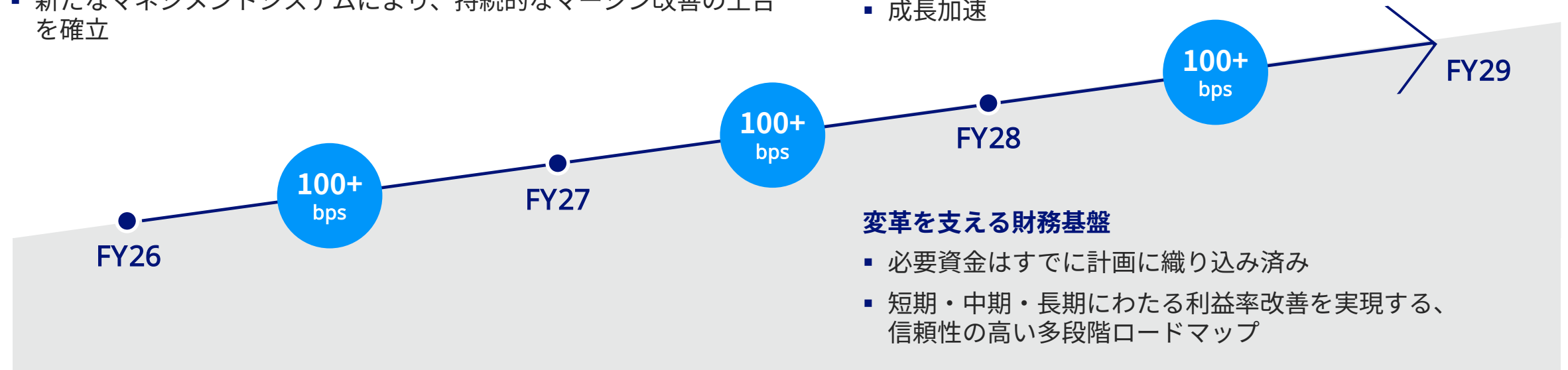
- 出荷止めの正常化を進め、短期的な売上原価の制約を段階的に解消
- 新たな事業主体のオペレーティングモデルによる効率化の進展
- 新たなマネジメントシステムにより、持続的なマージン改善の土台を確立

### 後期フェーズ：

#### 中期的な営業利益率の拡大

利益率改善を支える 3 つの構造的施策：

- ビジネスプロセスの改善
- 売上原価の変革
- 成長加速



#### 変革を支える財務基盤

- 必要資金はすでに計画に織り込み済み
- 短期・中期・長期にわたる利益率改善を実現する、信頼性の高い多段階ロードマップ



# 企業価値創造を牽引する2027年3月期のリーダーシップチーム

## 執行役



**ボブ・ホワイト**

取締役 代表執行役  
社長兼CEO  
(最高経営責任者)



新任

**ジモーネ・バーガー**

執行役  
チーフヒューマンリソース  
オフィサー  
(最高人事総務責任者)



新任

**キース・ベティガー**

執行役  
ガストロインテスティナル  
ソリューションズ ディビジョン  
ヘッド  
(最高消化器内視鏡ソリューション  
事業責任者)



**ジョン・デ・  
チェペル**

執行役  
チーフメディカル  
オフィサー  
(最高医学責任者)



**ガブリエラ・ケイナー**

執行役  
チーフストラテジー  
オフィサー  
(最高経営戦略統括責任者)



**倉本 聖治**

執行役  
サージカルインターベンション  
ソリューションズ  
ディビジョンヘッド  
(最高サージカルインターベンション  
事業責任者)

## リージョナル・プレジデント



新任

**河野 裕宣**

日本地域



新任

**リチャード・  
レイノルズ**

米州地域



**サヤード・  
ナヴィード**

執行役  
チーフテクノロジー  
オフィサー  
(最高技術責任者)



新任

**マイケル・  
パレンティ**

執行役  
チーフファイナンシャル  
オフィサー  
(最高財務責任者)



新任

**デイビッド・  
シャン**

執行役  
チーフマニュファクチャ  
リングアンドサプライ  
オフィサー  
(最高製造供給責任者)



**ボリス・  
シュコルニック**

執行役  
チーフクオリティオフィサー  
(最高品質法規制責任者)



**ニール・  
ボイデン・タナー**

執行役  
グローバルジェネラル  
カウンセル  
(最高法務責任者)



新任

**ナターシャ・  
ロミン**

EMEA地域



新任

**コンスタンティン・  
ザンゲマイスター**

APAC地域



新任

**ローザ・チェン**

中国地域

# 連結業績および事業概況

2026年3月期 第3四半期



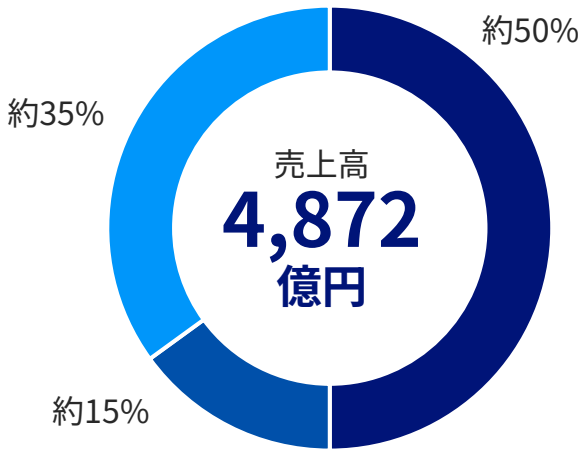
# 2026年3月期 第3四半期実績 連結業績概況

- 1 売上高：第3四半期は欧州、新興国、中国が堅調に推移し、為替の追い風もあり、+4%成長
- 2 調整後営業利益：第3四半期は継続して販管費をコントロールした一方、米国関税の影響などにより減益

(単位：億円)	FY25 3Q累計	FY26 3Q累計	前期比	為替影響調整後
売上高	7,252	7,154	▲1%	▲1%
売上総利益 (売上総利益率)	4,909 (67.7%)	4,613 (64.5%)	▲6% (▲3.2%)	▲5%
販管費 (販管費率)	3,630 (50.1%)	3,677 (51.4%)	+1% (+1.4%)	+1%
持分法による投資損益	2	▲37	-	-
その他の収益および費用	▲194	▲196	-	-
営業利益 (営業利益率)	1,088 (15.0%)	703 (9.8%)	▲35% (▲5.2%)	▲31%
調整後営業利益 (調整後営業利益率)	1,282 (17.7%)	899 (12.6%)	▲30% (▲5.1%)	▲26%
税引前利益 (税引前利益率)	1,052 (14.5%)	669 (9.4%)	▲36% (▲5.2%)	
当期利益	764	434	▲43%	
親会社の所有者に帰属する当期利益	764	434	▲43%	

FY25 3Q		FY26 3Q	前期比	為替影響調整後
2,512	1	2,610	+4%	+1%
1,680 (66.9%)		1,649 (63.2%)	▲2% (▲3.7%)	▲5%
1,251 (49.8%)		1,257 (48.1%)	0% (▲1.7%)	▲3%
2		1	-	-
▲49		▲152	-	-
383 (15.2%)		241 (9.2%)	▲37% (▲6.0%)	▲41%
431 (17.2%)	2	393 (15.1%)	▲9% (▲2.1%)	▲13%
364 (14.5%)		221 (8.5%)	▲39% (▲6.0%)	
274		142	▲48%	
274		142	▲48%	

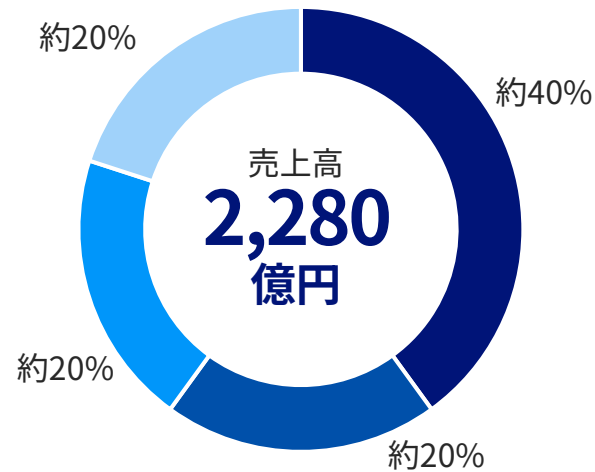
# 2026年3月期 第3四半期実績 消化器内視鏡ソリューション事業



(単位: 億円)	FY25 3Q	FY25 3Q累計	FY26 3Q	FY26 3Q累計
売上高	1,710	4,934	1,802	4,872
営業利益	391	1,167	417	951
その他の収益および費用	▲42	▲145	▲63	▲111
調整後営業利益	432	1,312	480	1,062
営業利益率（為替影響調整後）	22.8%	23.6%	23.1% (22.9%)	19.5% (20.2%)
調整後営業利益率（為替影響調整後）	25.3%	26.6%	26.6% (26.4%)	21.8% (22.5%)

FY26 vs FY25（10-12月） 売上高成長率	円ベース 為替込み		為替影響 調整後
■ 消化器内視鏡	+3%	■ 為替の追い風もあり、プラス成長。北米ではEDOFスコープのデモの遅れによる影響があった一方、欧州（主に英国）とアジア・オセアニアの一部地域で堅調に推移。中国では新たなGo to Market戦略、販促活動・事業運営の実行力の改善、内視鏡用超音波観測装置「EU-ME3」と2025年11月発売の現地生産・上部消化管用EDOFスコープの発売により、第3四半期は為替影響調整後で一桁半ばの成長を実現	0%
■ 消化器科処置具	+8%	■ 各地域の強い実行力とプロダクトミックスの改善により前期比でプラス成長。成長を牽引した北米では、効果的な販促活動、肝胆膵疾患（内視鏡的逆行性胆道膵管造影術（ERCP）製品など）の製品や止血クリップ「Retentia」などの新製品の寄与により、為替影響調整後で二桁前半の成長を実現	+5%
■ 医療サービス	+8%	■ サービス契約の価格改定などにより、主に欧州が堅調に推移し、為替影響調整後で期初より安定した一桁前半の成長を実現	+4%
合計	+5%		+2%

# 2026年3月期 第3四半期実績 サージカルインターベンション事業



(単位: 億円)	FY25 3Q	FY25 3Q累計	FY26 3Q	FY26 3Q累計
売上高	801	2,314	808	2,280
営業利益	50	73	▲64	▲106
その他の収益および費用	▲16	▲66	▲54	▲99
調整後営業利益	66	139	▲10	▲7
営業利益率（為替影響調整後）	6.2%	3.1%	- (-)	- (-)
調整後営業利益率（為替影響調整後）	8.2%	6.0%	- (-)	- (0.4%)

FY26 vs FY25 (10-12月)  
売上高成長率

円ベース  
為替込み

為替影響  
調整後

■ 泌尿器科	+3%	■ 肥大した前立腺や膀胱腫瘍の切除用電極の売上が増加。為替の追い風もあり、プラス成長。複数の国で好調に推移した欧州で増収の一方、一部製品の出荷止めなどにより北米で減収	▲1%
■ 呼吸器科	+6%	■ 欧州が好調に推移し、増収。一部製品の出荷止めなどの向かい風があったものの、超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)で使われる超音波気管支鏡や処置具が好調に推移し、この影響を相殺	+2%
■ 外科内視鏡	+8%	■ 第1四半期より発売した外科内視鏡システム「VISERA ELITEIII」が好調に推移した北米を中心に増収	+4%
■ その他の治療領域	▲12%	■ 一部製品の出荷止めの影響のあったサージカルデバイスなどで、減収	▲16%
合計	+1%		▲3%

# 連結財政状態計算書

**1** 自己株式の取得や配当金の支払などにより現預金が減少の一方、為替の影響や棚卸資産の増加により総資産は増加

(単位：億円)	2025年3月末 <sup>1</sup>	2025年12月末	増減額
流動資産	6,796	6,527	▲269
現金及び現金同等物	2,525	1,695	<b>1</b> ▲831
棚卸資産	1,871	2,150	+278
非流動資産	7,537	8,053	+516
有形固定資産	2,633	2,854	+220
無形資産	940	1,041	+102
のれん	1,806	1,909	+103
<b>資産 合計</b>	<b>14,333</b>	<b>14,579</b>	<b>1</b> +246

	2025年3月末 <sup>1</sup>	2025年12月末	増減額
流動負債	4,254	4,007	▲246
営業債務及びその他の債務	614	566	▲48
社債および借入金	950	782	▲168
その他の流動負債など <sup>2</sup>	2,690	2,660	▲30
非流動負債	2,562	2,838	+277
社債および借入金	1,341	1,596	+255
資本	7,517	7,733	+216
自己資本比率	52.4%	53.0%	+0.6pt
<b>負債および資本合計</b>	<b>14,333</b>	<b>14,579</b>	+246

<sup>1</sup> 2025年3月期において発生したチリの販売会社の企業結合について、当連結会計年度において暫定的な金額の修正を行っています

<sup>2</sup> 連結財政状態計算書の勘定科目である、その他の金融負債、未払法人所得税、引当金、その他の流動負債を含みます

# 連結キャッシュフロー計算書

- 1 FCF：法人税の支払や有形固定資産の取得を主要因に、FCFは84億円のマイナス。特殊要因を考慮した調整後FCF<sup>1</sup>は236億円のプラス
- 2 財務CF：自己株式の取得による支出と配当金の支払を主要因に、823億円のマイナス

(単位：億円)	FY25 3Q累計	FY26 3Q累計	増減
税引前利益	1,052	669	▲383
営業キャッシュフロー（営業CF）	1,263	593	▲670
投資キャッシュフロー（投資CF）	▲426	▲677	▲252
フリーキャッシュフロー（FCF）	837	1	▲84
調整後フリーキャッシュフロー（調整後FCF）	634	236	▲397
財務キャッシュフロー（財務CF）	▲2,066	2	▲823
現金および現金同等物期末残高	2,203	1,695	▲508
FY25 3Q累計（4-12月）の主な特殊要因		FY26 3Q累計（4-12月）の主な特殊要因	
営業CF：科学事業の譲渡に関する法人税の還付	+290億円	営業CF：科学事業の譲渡に関連した税金の支払（海外・日本）	▲268億円
営業CF：社外転進支援制度の引当金取崩しによる支出	▲53億円	投資CF：Swan EndoSurgical, Incに対する出資など	▲76億円
営業CF：Veran Medical Technologies社の撤退に関わる支出	▲17億円	投資CF：韓国企業の買収解除に伴う買収対価の戻り	+30億円
営業CF：条件付対価の決済による支出（Odin Medical社等）	▲12億円		
投資CF：投資有価証券の取得による支出	▲85億円		
投資CF：条件付対価の決済による支出（Odin Medical社、Medi-tate社等）	▲46億円		
投資CF：整形外科事業の譲渡に伴う収入	+51億円		
投資CF：韓国企業の買収解除に伴う買収対価の戻り	+76億円		

<sup>1</sup> 「その他の収益・その他の費用のうちキャッシュイン、アウトしたもの」、「M&A関連支出」、「構造改革関連支出」など特殊要因を調整

# 通期業績見通し

2026年3月期

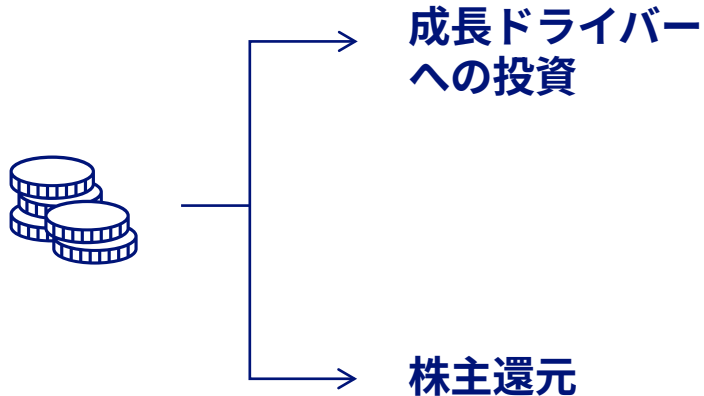
# 2026年3月期 通期見通し 連結業績

☑ 第3半期までの進捗やサージカルインターベンション事業における出荷止めの影響などを織り込み、通期見通しを変更。  
不透明な状況を踏まえ、一部の科目について現時点で見込まれる範囲をレンジ形式にて開示

- 1 売上高：前回見通しを円ベースで維持し、9,980億円
- 2 売上総利益：第3四半期までの進捗およびサージカルインターベンション事業における出荷止めの影響などを考慮し、修正
- 3 販管費：コストコントロールを一層強化し、為替影響調整後では更なる削減を見込む
- 4 その他の費用：約2,000のポジション削減に係る施策が前倒しで進み、今期の関連費用を約310億円に増額修正

(単位：億円)	FY26 前回見通し	FY26 最新通期見通し	前回見通し比	為替影響調整後	FY25 通期実績	前期比	為替影響調整後
売上高	9,980	1 9,980	0%	▲2%	9,973	0%	▲1%
売上総利益 (売上総利益率)	6,595 (66.1%)	2 6,370~6,460 (63.8%~64.7%)	▲3.5%~▲2%	▲5.5%~▲4%	6,837 (68.6%)	▲7%~▲5.5%	▲7.5%~▲6%
販管費 (販管費率)	4,985 (49.9%)	3 5,030~5,060 (50.4%~50.7%)	+1%~+1.5%	▲1%~▲0.5%	4,957 (49.7%)	+1.5%~+2%	0%~+0.5%
その他の収益および費用 など	▲250	4 ▲560	-	-	▲256	-	-
営業利益 (営業利益率)	1,360 (13.6%)	750~870 (7.5%~8.7%)	▲45%~▲36%	▲46%~▲37.5%	1,625 (16.3%)	▲54%~▲46.5%	▲51%~▲43.5%
調整後営業利益 (調整後営業利益率)	1,570 (15.7%)	1,270~1,390 (12.7%~13.9%)	▲19%~▲11.5%	▲21%~▲13.5%	1,885 (18.9%)	▲32.5%~▲26.5%	▲31%~▲24.5%
親会社の所有者に帰属す る当期利益	940	500~590	2026年3月期配当		1,179		
EPS	85円	45円~53円	年間配当30円を予定		103円		

# 成長と株主価値を創出するための、一貫したキャピタルアロケーション・ポリシー



## 優先

- 収益性の高い既存事業への投資
- 成長機会への戦略的な投資
  
- 配当                      中長期的な業績を考慮しながら、安定的かつ段階的に増配
- 自己株式取得            投資機会と資金状況に応じて、機動的に自己株式の取得を実施

EPS成長率<sup>1</sup>  
**10 %超**  
 FY26を起点としたCAGR

》 フリーキャッシュフロー  
 コンバージョンの向上

》》》 TSR（株主総利回り）  
 の向上

<sup>1</sup> 為替前提を固定。特殊要因調整後：その他の収益および費用を除く、為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用



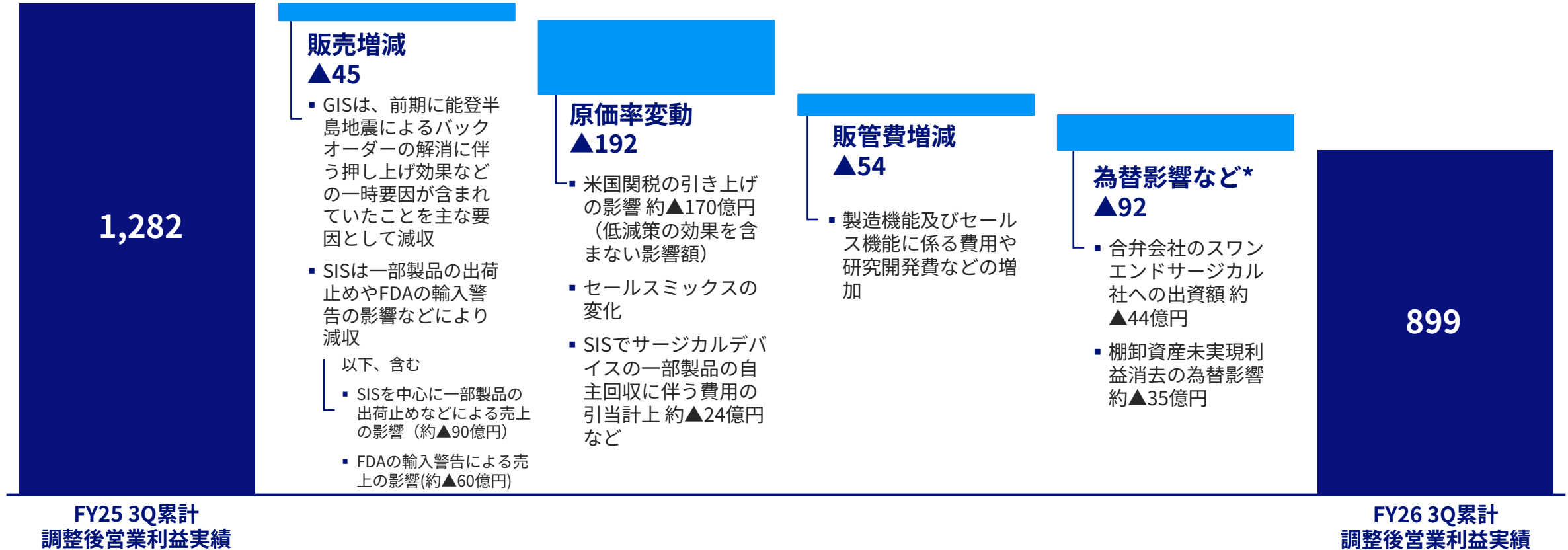
**OLYMPUS**

The logo consists of the word "OLYMPUS" in a bold, dark blue, sans-serif typeface. Directly beneath the text is a horizontal yellow line that features a slight upward curve in its center.

# Appendix

# 2026年3月期 第3四半期累計実績 連結調整後営業利益増減要因

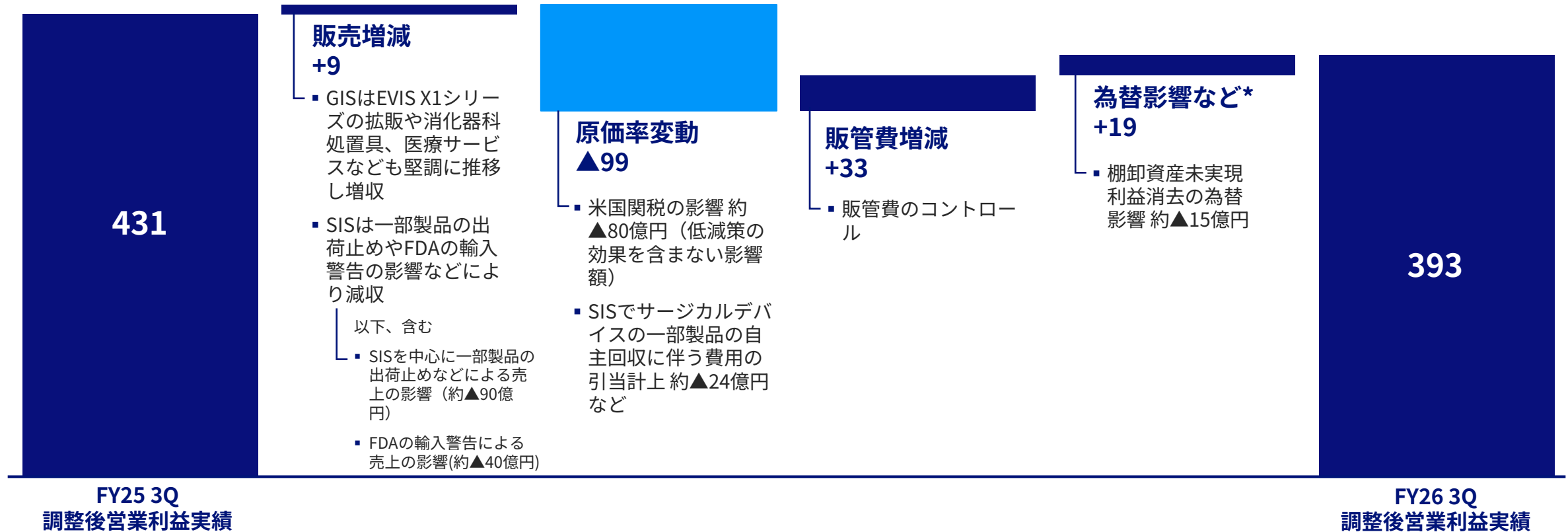
## 第3四半期累計実績（4-12月）



（単位：億円） \* 「持分法による投資損益」が含まれています

# 2026年3月期 第3四半期実績 連結調整後営業利益増減要因

## 第3四半期実績（10-12月）



（単位：億円） \* 「持分法による投資損益」が含まれています

# プロダクトパイプライン：消化器内視鏡ソリューション事業

(2026年2月13日時点)

## ☑ 2026年3月期の消化器内視鏡ソリューション事業における重点戦略

### 消化器内視鏡

- 米国市場においてEVIS X1の発売第2フェーズを開始。EDOF（被写界深度拡大）技術搭載スコープにて差別化されたラインナップを提供：高倍率と広い焦点による拡大観察により、より容易な組織の識別に寄与
- 新興国市場での市場シェア拡大をターゲットにしたアプローチを継続
- 中国での消化器内視鏡の現地生産と市場投入に向けた施策の加速
- 「Aplio」（キヤノンメディカルシステムズとの協業）と「EU-ME3」の2つの超音波内視鏡プラットフォームの導入を推進
- 2026年3月期に欧州および米国で最初のOLYSENSE<sup>1</sup>製品を発売

### 消化器科処置具

- ERCP、ESD、メタルステント、止血デバイスなど主要カテゴリーにおいて、臨床的に差別化された製品ポートフォリオを拡充
- 主要市場である米国、欧州、日本を含む地域で10以上の製品を発売

### 医療サービス

- 予防保守による稼働時間の拡大、予算、運用サポートなどの顧客ニーズに基づき、業界をリードするサービスを提供
- サービス部門と修理部門の緊密な連携により、効率的で顧客重視のサービスを提供

現在の主力製品	直近の新製品 / 発売予定の製品	中長期のパイプライン
<b>消化器内視鏡</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ EVIS X1システム・スコープ</li> <li>■ EVIS EXERA IIIシステム・スコープ（米国、欧州）</li> <li>■ EVIS LUCERA ELITEシステム・スコープ（中国）</li> <li>■ 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（欧州、日本、アジア・オセアニア）</li> </ul> <b>消化器科処置具</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ERCP（ガイドワイヤ）</li> <li>■ ESD&amp;EMR（ESDナイフ）</li> <li>■ サンプリング（スネア、生検鉗子）</li> <li>■ 止血（止血クリップ、止血関連ソリューション）</li> <li>■ EUS（超音波内視鏡検査用吸引生検針）</li> </ul>	<b>消化器内視鏡</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ EXIS X1 EDOF上部消化管用ビデオスコープ（米国、中国）</li> <li>■ EXIS X1 EDOF下部消化管用ビデオスコープ（米国、中国）</li> <li>■ インテリジェント内視鏡医療エコシステム OLYSENSE（米国、欧州）</li> <li>■ 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（米国、中国）</li> </ul> <b>消化器科処置具</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 止血クリップ Retentia（米国、欧州、アジア・オセアニア、中国）</li> <li>■ 超音波内視鏡検査用吸引生検針 SecureFlex（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）</li> <li>■ 大腸内視鏡先端アタッチメント EndoCuff Vision（日本）</li> <li>■ ディスポーザブル回収ネット（欧州）</li> <li>■ 高周波スネア（欧州）</li> <li>■ 止血関連ソリューション EndoClot（アジア・オセアニア）</li> <li>■ 胆管用メタリックステント GORE VIABIL Biliary Endoprosthesis（米国、欧州、アジア・オセアニア、中国）</li> </ul>	<b>消化器内視鏡</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ EVIS X1スコープ（米国、欧州、日本、中国）</li> <li>■ 新超音波内視鏡</li> <li>■ インテリジェント内視鏡医療エコシステム OLYSENSE</li> <li>■ シングルユース十二指腸内視鏡</li> </ul> <b>消化器科処置具</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 超音波内視鏡検査用吸引生検針 SecureFlex（中国）</li> <li>■ 新止血クリップ</li> <li>■ 胆管用プラスチックステント</li> </ul> <p><sup>1</sup> OLYSENSEはオリンパス株式会社および/またはそのグループ会社の商標です。すべての商標、ロゴ、ブランド名は、それぞれの所有者に帰属します  （注）医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております</p>

# プロダクトパイプライン：サージカルインターベンション事業

(2026年2月13日時点)

## ☑ 2026年3月期のサージカルインターベンション事業における重点戦略

### 泌尿器科

- iTindの市場開拓を通じて前立腺肥大の分野で業界をリードしつつ、コアのイメージング技術とプラズマ技術の普及率を向上
- SOLTIVE SuperPulsed Laser Systemにより、結石破碎治療における成長を拡大

### 呼吸器科

- 肺がんの診断とステージ分類の分野において、最新のEBUS-TBNAに一層注力
- 「EVIS X1」プラットフォームの導入促進を継続し、気管支鏡の強みを強化

### 外科内視鏡

- 外科内視鏡システム「VISERA ELITE III」を米国及び中国（2026年3月期第1四半期）で発売し、市場競争力の向上を図る

現在の主力製品	直近の新製品 / 発売予定の製品	中長期のパイプライン
<b>泌尿器科</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ レゼクト電極、ESG-410</li> <li>▪ ツリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System（米国、欧州、アジア・オセアニア）</li> </ul> <b>呼吸器科</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ シングルユース気管支鏡（米国）</li> <li>▪ 気管支鏡、超音波気管支鏡</li> <li>▪ ディスポーザブル吸引生検針</li> <li>▪ スパイレーションバルブシステム</li> <li>▪ EVIS X1 気管支鏡（欧州、日本、アジア・オセアニア）</li> <li>▪ 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（欧州、日本、アジア・オセアニア）</li> </ul> <b>外科内視鏡</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ VISERA ELITE III（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア、中国）</li> </ul>	<b>泌尿器科</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ シングルユース尿管鏡/膀胱鏡（米国、欧州、アジア・オセアニア）</li> <li>▪ ツリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System（日本）</li> <li>▪ 前立腺肥大症低侵襲治療デバイス iTind（米国、欧州、アジア・オセアニア）</li> <li>▪ 4Kカメラヘッド（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）</li> <li>▪ VISERA S（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）</li> <li>▪ OES ELITE 硬性膀胱鏡（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）</li> </ul> <b>呼吸器科</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ EVIS X1 気管支鏡（米国）</li> <li>▪ 細径EBUSスコープ（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）</li> <li>▪ 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（米国、中国）</li> <li>▪ シングルユース気管支鏡（欧州）</li> </ul>	<b>泌尿器科</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ レーザーシステム</li> </ul> <b>呼吸器科</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ EVIS X1 気管支鏡（中国）</li> <li>▪ 細径EBUSスコープ（中国）</li> </ul> <b>外科内視鏡</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 次世代外科内視鏡システム</li> </ul> <p>（注）医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております</p>

# 2026年3月期 第3四半期累計実績 「Elevate」に係る費用

(単位：億円)	FY24 通期実績	FY25 通期実績
販管費	85	111
その他の費用	230	194
<b>合計</b>	<b>315</b>	<b>305</b>

(単位：億円)	FY26 1Q	FY26 2Q	FY26 3Q	FY26 3Q累計	FY26 通期見通し
販管費	24	23	25	72	98
その他の費用	24	30	27	81	113
<b>合計</b>	<b>48</b>	<b>53</b>	<b>52</b>	<b>153</b>	<b>211</b>

# 2026年3月期 第3四半期累計実績 連結調整後営業利益

☑調整後営業利益は、営業利益から「その他の収益・その他の費用」を差し引いた数値を記載

(単位：億円)	FY25 3Q累計	FY26 3Q累計
営業利益	1,088	703
①調整項目：その他の収益	46	87
主な収益科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国子会社が中国・深圳市に保有する土地使用权及び建物を深圳市政府へ返還したことに伴う補償金 12（全社・消去）</li> <li>和解に伴う、中国子会社に対する訴訟の引当金の戻入 11（全社・消去）</li> <li>株式会社エビデントとのライセンス使用許諾等に関する合意に基づく対価 60（全社・消去）</li> </ul>	
②調整項目：その他の費用	▲240	▲284
主な費用科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」に係る一時的な費用 ▲158（GIS、SIS）</li> <li>社外転進支援制度の実施に伴う特別支援金等の費用 ▲29（GIS、SIS、全社・消去）</li> <li>開発資産の減損損失 ▲18（GIS、SIS）</li> <li>品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」に係る一時的な費用 ▲81（GIS、SIS）</li> <li>開発資産の減損損失 ▲33（SIS）</li> <li>グローバルレベルで組織体制を変革し、人員数の最適化を図るための施策の実施に伴う費用 ▲125（GIS、SIS、全社・消去）</li> </ul>	
調整後営業利益	1,282	899



# 2026年3月期 通期見通し 連結調整後営業利益増減要因 (前期比)

(単位：億円)	金額	主な要因
FY25 調整後営業利益 実績	1,885	
販売増減	▲45	<ul style="list-style-type: none"> <li>■GISは主にEVIS X1シリーズの拡販により増収。SISは一部製品の出荷止めやFDAの輸入警告の影響などにより減収</li> <li>■以下、含む</li> <li>■SISを中心に一部製品の出荷止めなどによる売上の影響 約▲270億円</li> <li>■FDAの輸入警告による売上の影響 約▲110億円</li> </ul>
原価率変動	▲461～▲369	<ul style="list-style-type: none"> <li>■米国関税の影響 約▲260億円（低減策の効果を含まない影響額）</li> <li>■SISを中心に一部製品の出荷止めなどによる影響</li> <li>■プロダクトミックスの変化</li> </ul>
販管費増減	▲31～▲2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■将来の成長に向けた長期的な戦略投資の増加</li> </ul>
為替影響など*	▲78～▲79	<ul style="list-style-type: none"> <li>■合併会社のスワンエンドサージカル社への出資額 約▲44億円</li> </ul>
FY26 調整後営業利益 最新見通し	1,270～1,390	

\* 「持分法による投資損益」が含まれています

為替

(単位：円)	FY25 実績	FY26 最新見通し
円／ドル	152.58	150.56
円／ユーロ	163.75	174.63
円／人民元	21.10	21.18

# 2026年3月期 通期見通し 連結調整後営業利益増減要因 (前回見通し比)

(単位：億円)	金額	主な要因
FY26 調整後営業利益 前回見通し	1,570	
販売増減	▲117	■SISを中心に一部製品の出荷止めなどによる売上の影響 約▲270億円
原価率変動	▲230～▲140	■SISを中心に一部製品の出荷止めなどによる影響
販管費増減	+18～+47	■コストコントロールの一層の強化
為替影響など*	+29～+30	
FY26 調整後営業利益 最新見通し	1,270～1,390	

\* 「持分法による投資損益」が含まれています

為替

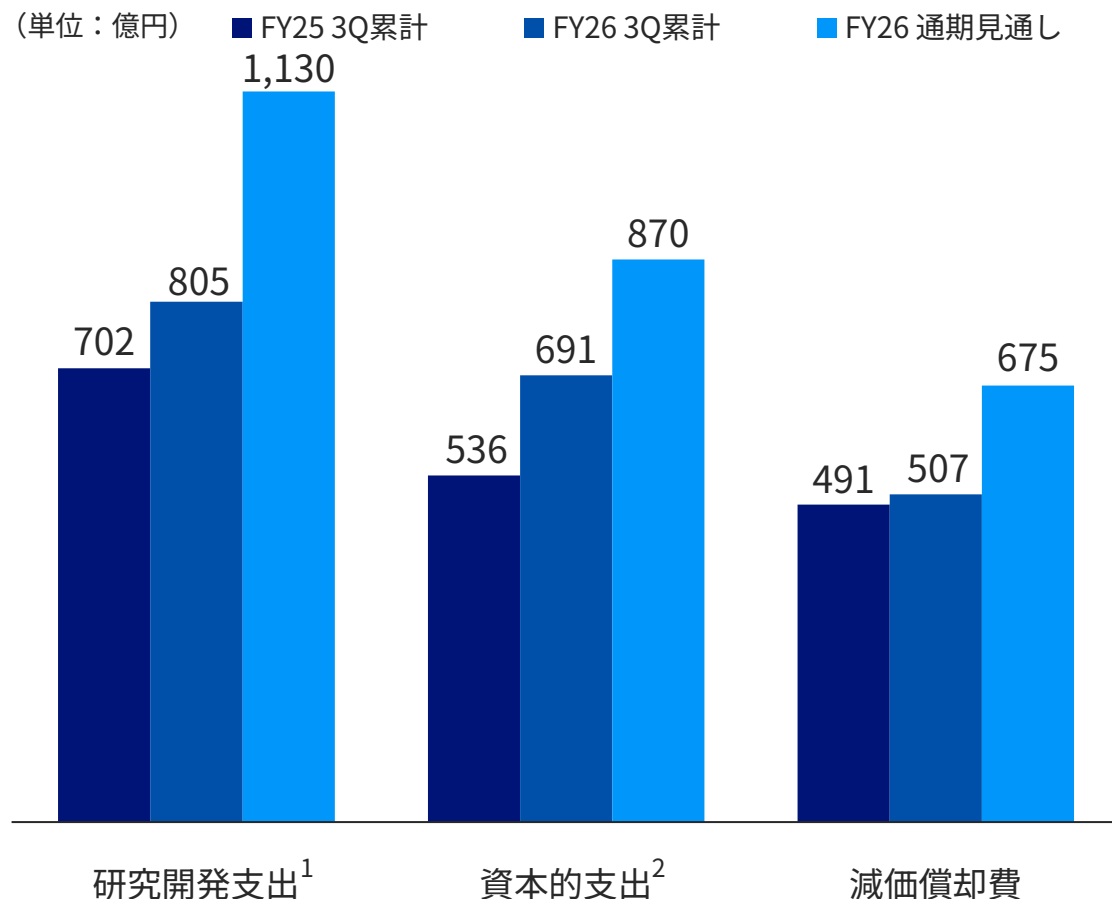
(単位：円)	FY25 前回見通し	FY26 最新見通し
円／ドル	144.90	150.56
円／ユーロ	169.20	174.63
円／人民元	19.92	21.18

# 2026年3月期 通期業績見通し セグメント別業績

(単位：億円)		FY26 前回公表 通期見通し	FY26 最新 通期見通し	前回見通し比	為替影響調整後	FY25 通期実績	前期比	為替影響調整後
消化器内視鏡 ソリューション	売上高	6,795	6,870	+1%	▲1%	6,740	+2%	+1%
	営業利益 (営業利益率)	1,495 (22.0%)	1,260~1,360 (18.3%~19.8%)	▲15.5%~▲9%	▲17.5%~▲11%	1,714 (25.4%)	▲26.5%~▲20.5%	▲25.5%~▲19.5%
	調整後営業利益 (調整後営業利益率)	1,620 (23.8%)	1,520~1,620 (22.1%~23.6%)	▲6%~0%	▲8.5%~▲2%	1,896 (28.1%)	▲20%~▲14.5%	▲19%~▲14%
サージカル インターベン ション	売上高	3,180	3,110	▲2%	▲4%	3,228	▲3.5%	▲4.5%
	営業利益 (営業利益率)	40 (1.3%)	▲245~▲225 (-)	-	-	153 (4.7%)	-	-
	調整後営業利益 (調整後営業利益率)	145 (4.6%)	▲30~▲10 (-)	-	-	236 (7.3%)	-	-
全社・消去	営業損益	▲170	▲265	-	-	▲238	-	-
連結合計	売上高	9,980	9,980	0%	▲2%	9,973	0%	▲1%
	営業利益 (営業利益率)	1,360 (13.6%)	750~870 (7.5%-8.7%)	▲45%~▲36%	▲46%~▲37.5%	1,625 (16.3%)	▲54%~▲46.5%	▲51%~▲43.5%
	調整後営業利益 (調整後営業利益率)	1,570 (15.7%)	1,270~1,390 (12.7%~13.9%)	▲19%~▲11.5%	▲21%~▲13.5%	1,885 (18.9%)	▲32.5%~▲26.5%	▲31%~▲24.5%

# 投資実績推移および2026年3月期 通期見通し

## 第3四半期累計実績（4-12月）および通期見通し



(単位：億円)	FY25	FY26	FY26 通期見通し
研究開発支出 <sup>1</sup> (a)	702	805	1,130
開発費資産化 (b)	102	153	220
損益計算書上における 研究開発費 (a-b)	600	652	910

(単位：億円)	FY25	FY26
償却費	60	63
	2025年9月末	2025年12月末
開発資産残高	673	722

1 研究開発支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています  
 2 資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています。また、2021年3月期よりIFRS第16号「リース」を適用し、資本的支出には下記使用権資産が含まれています。(FY25 3Q累計：117億円、FY26 3Q累計：91億円、FY26 通期見通し：95億円)

# 為替レート及び為替感応度

☑ 通期見通しの前提となる為替レートは、直近1ヵ月間の平均値を原則としている

## 為替

(単位：円)	FY25 1Q	FY25 2Q	FY25 3Q	FY26 1Q	FY26 2Q	FY26 3Q	FY26 見通し
円／ドル	155.88	149.38	152.44	144.59	147.48	154.15	150.56
円／ユーロ	167.88	164.01	162.59	163.80	172.32	179.39	174.63
円／人民元	21.48	20.82	21.16	19.99	20.6	21.73	21.18

## 為替感応度（年間）

(単位：億円)	売上高	営業利益
ドル（1円あたり）	28	7
ユーロ（1円あたり）	16	6
人民元（1円あたり）	45	21

\*上表の数値は継続事業の金額を表示しています。また、為替感応度（年間）はFY25Q4実績より算出しています

# 略語集

略語	英語	日本語
EBUS-TBNA	Endobronchial Ultrasound-guided Transbronchial Fine Needle Aspiration	超音波気管支鏡ガイド下針生検
EMR	Endoscopic Mucosal Resection	内視鏡的粘膜切除術
ERCP	Endoscopic Retrograde Cholangio Pancreatography	内視鏡的逆行性胆道膵管造影術
ESD	Endoscopic Submucosal Dissection	内視鏡的粘膜下層剥離術
EUS	Endoscopic Ultrasound	超音波内視鏡